

活力剤

植物を元気にする



1kg入

真面目にお使いいただくとキクスイカミキリによる被害うどんこ、白ザビなど、発病はほとんど見られません。

キクスイカミキリによる被害



使った場合ほとんど見られない

土を元気にする



1kg入

元気に専科 体質強化、生育促進、減農薬栽培用 活力剤

元気に専科は光合成を高め体質強化をし、生育促進する。また病害虫の被害を受けにくくし、減農薬をめざした革新的な活力剤です。

特徴

- 主成分は、鉄・シリカ・竹酢・トレハロースを配合した「植物に」「人に」「自然に」やさしい活力剤です。
- 配合した鉄分は葉緑素の生育を高め、日照不足による光合成の低下を改善します。夏の遮光ネット使用による光合成の低下を改善し、肥料残りを軽減します。
- 配合したシリカは茎葉の表面を丈夫にし病原菌の侵入を防ぎ、被害を軽減し、減農薬栽培に効果的です。
- 竹酢液は激辛トウガラシ・ニンニクなど虫のきらいな成分を多量に配合してあります。
- トレハロースは保湿性を高め、猛暑による萎れを軽減します。また冬の乾燥も軽減し、根の活力を維持し、冬至芽の発生をよくします。

生育に現れる効果

- チッ素過剰に成りにくい。
- 肥料残りが起きにくい。
- 生育が早まる。
- 害虫の被害軽減(限定的)。
- うどんこ・白カビなど病原菌の被害を受けにくい。

使い方

- 500～1000倍に水でうすめてお使い下さい。
- 灌水・葉面散布、どちらでも使えます。
- 7～10日間隔でお使い下さい。
- 液体肥料との混合使用できます。

※詳しくは使い方をご参照ください。

土に活(つちにかつ) 土を元気にし、根の働きをよくする活力剤

土中微生物の栄養源となり、働きや増殖を活発にし通気性や排水性など土の物理性を改善し、根の働きを高め、根張りを良くする。生育の良い土づくりに効果的です。

特徴

- 主原料は緑藻類・大豆・麦芽など有機材料を使用し極超微粒子に精製した有機活力剤です。
- 成分はアミノ酸・ビタミン・βカロチン・クロロフィル・生長ホルモン等々です。短時間で効率よく吸収し、代謝機能を活発にし体質を強化し、生長を早めます。
- 培養土のリフレッシュをし、水のしみ込みをよくし排水性を高めます。適正な肥料濃度に改善し、肥料の効きめを良くします。

生育に現れる効果

- 土中微生物の働きを活発にし土のパワーアップをします。
- 根の活力を高め水や肥料の吸収を良くします。
- 通気性・排水性など土の物理性を改善します。

使い方

- 育苗期から開花期まで全栽培期間で使えます。
- 500～1000倍に水でうすめて7～10日間隔でお使い下さい。

灌水専用・葉面散布はできません。

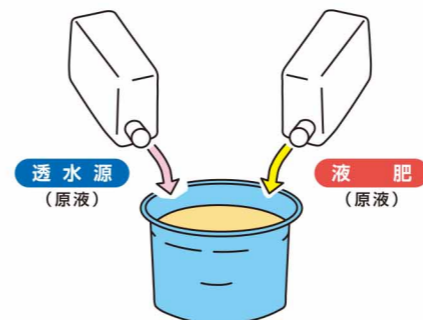
その他の資材

使った時から水掛け名人



450g入

規定倍率にうすめ混合使用できます



色ボケ防止に効果的



500g入

透水源 透排水促進剤

水掛けの極意は鉢土全体に、均一に水をしみ込ませることです。分かっていてもなかなかできないのが水掛けです。透水源は水の撥水性を抑え浸透性を高め鉢土全体に拡散させる“名人の水掛け”が簡単にできる資材です。

特徴及び効果

- 鉢土内に均一に水をしみ込ませ「古い空気を新しい空気に入れ替え」ます。
- 酸欠が起きない為、根の働きが強く、肥料や水の吸収が高まり、生育が良くなります。
- 鉢土全体に均一に水がしみ込む為、“水みち”ができない。その為“ドブ漬”が不用となる。
- 有益微生物の増殖や働きが活発になり、団粒構造の形成を促進し、通気性や排水性など土の物理性を改善します。
- 腐葉土の積み込みや赤玉土の改良など土づくりに水のしみ込みが良く作業性が向上します。
- 消毒液をうすめる時使用すると消毒液のしみ込みがよくなり、すみずみまでまわりやすくなります。

水ときたら透水源

広範囲にお役にたちます

使い方

- 水にうすめてお使い下さい。

1. 水掛け3000～5000倍(水掛けの都度)
2. 液肥をうすめる時3000～5000倍
3. 腐葉土積み込みや赤玉土の改良など土づくり2000～3000倍
4. サシ穂や切花の水上げ2000～3000倍
5. 消毒液をうすめる時3000～5000倍

こくなある 花の色が濃くなる・色ボケ防止に効果的

- 特殊細菌類の栄養分を原料とした、開花期用の栄養剤です。
- 成分はカロチノイド色素、細菌性葉緑素、アミノ酸、核酸、ビタミン、ミネラル等々です。
- 特に赤系の花の発色が良く、白系の花は濁りのない鮮やかな白色となります。
- 色ボケしやすいピンク系の花は鮮やかな発色となります。また、花卉のツヤがよくなり、花の気品が高まります。
- 花ぐされ花のシミなどの予防や花の日持ちの向上にも優れた効果があります。

使い方

- 9月中旬から10月中旬に1000倍で4～5回使用します。
- ※アミノP・K、又はみらいと併用するとより効果的です。

生育に現れる効果

- 赤・黄などの花色が濃くなります。
- 花の日持ちがよくなります。
- ピンクなど、淡い色の花は色ボケ防止に効果的
- 白色の花は花卉のツヤが良くなります。